

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0175700277		
法人名	有限会社 ビバグループ		
事業所名	グループホーム ビバ美園		
所在地	北海道岩見沢市美園6条6丁目26番地 (電話) 0126-24-6331		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年7月1日	評価確定日	平成21年7月15日

## 【情報提供票より】(平成20年12月17日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	25 人	常勤 9人, 非常勤 16人, 常勤換算	17.3人

### (2) 建物概要

建物構造	木造2階準耐火 造り		
	2階建ての	1~2階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,500 円	その他の経費(月額)	12,000~17,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		円	月額

### (4) 利用者の概要(12月17日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	7 名	要介護4	4 名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 82.1 歳	最低	72 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹内内科循環器科医院、竹内歯科クリニック、岩見沢脳神経外科
---------	-------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

その日の天候や利用者の希望、意向に応じて散歩や買い物、喫茶店訪問や桜見物、栗山方面や北山温泉までのドライブ等戸外に出かけられる機会を多く支援しているグループホームです。また、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら食事の準備や調理、洗たくや花壇作りなど楽しみごとや気晴らしの支援、地域の人達や中学生のボランティア、児童会館の児童が参加するパーベキューで認知症に対する理解や啓発への取り組みや地元の人々との交流促進、ホーム機能の地域への還元にも努めています。地域のケアサービスの質の向上の為に「認知症ケアネットワーク」の取り組みに参加して研修会開催、職員研修等の実践など行われています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、緊急時などで協力が得られるように地域とのつきあいについて改善点が挙げられていましたが、町内会行事参加やホーム主催のパーベキューに地元の人々の参加を呼びかけたり、火災避難誘導訓練に参加して戴く等交流促進に取り組んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ課題を自ら見出す取り組みが実践されています。また、外部評価の結果については、職員間で話し合わせ改善すべき課題として取り組まれていると共に運営推進会議にも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は2ヶ月毎に定期的開催されています。主な議題については火災避難誘導訓練の取り組みについて ホーム主催の年間行事計画と実施について グループホームへの質問、要望について意見交換 地域交流のさらなる取り組みについて 2009年新年会及び食事会開催について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が気軽に来訪し易いような取り組みや利用料金を毎月持参戴いた際には意見や要望、不安への対応など言い表せる機会を設けて工夫しています。また、「ほこにこりぼーと」通信の発行や年2回運営推進会議に合わせたパーベキューなどの行事参加で気軽に話し合える環境作りに取り組んでいます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元の人々や中学生のボランティア、児童会館の児童が参加するパーベキューで認知症に対する理解や啓発への取り組みや地域の人々との交流促進、ホーム機能の地域への還元にも努めています。また、お祭りや資源ゴミ回収などの地域の行事参加、近隣への散歩や買い物など日常生活を通じて地域との連携に取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	サービス向上委員会を設置し、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念を作り上げその実現に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践のためにサービス向上委員会を設置して日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の人々やボランティア、児童、家族が参加するバーベキューで認知症に対する理解や啓発への取り組みや地域の人々との交流促進、ホーム機能の地域への還元にも努めている。また、資源ゴミ回収などの地域の行事参加、近隣への散歩や買物など日常生活を通じて地域との連携に取り組んでいる。		地域の人々との交流や火災避難訓練を通じた協力体制づくりに努めています。今後は、家族を含めてグループホームの役割や認知症に対する理解が進むような取り組みに期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ課題を自ら見出す取り組みが実践されている。また、外部評価の結果については、職員間で話し合わせ改善すべき課題として取り組まれていると共に運営推進会議にも報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、利用者、家族、町内会役員、岩見沢市担当者、運営者及び管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への市担当者の参加で意見交換や助言など行われていたり、消防署の協力を得て火災避難訓練などを実施するなど行政との連携の重要性を理解した取り組みが実施されている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的通信の「ほこにこりぽーと」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりや誕生会、ドライブや花見などのホーム行事参加の様子など家族に情報を提供している。また、金銭出納についても毎月領収書とともに報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に来訪し易いような取り組みや利用料金を毎月持参戴いた際には意見や要望、不安への対応など言い表せる機会を設けて工夫している。また、年2回運営推進会議に合わせたバーベキューなどの行事参加で気軽に話し合える環境作りに取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は、皆明るく穏やかで利用者と馴染みの関係を築き、日々ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、馴染みの職員がケアを実践できるように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護予防従事者研修会、身体拘束ゼロ研修会、認知症ケアフォーラムなど認知症ケアネットワークやグループホーム連絡協議会、行政主催の研修会に積極的に参加している。また、研修参加後は、参加者のレポート提出や報告会でフォローアップされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会や認知症ケアネットワークなどで同業者との積極的な交流など行われケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		特筆すべき点として、認知症ケアネットワークの取り組みに参加して、地域への認知症に対する理解や啓発に取り組んでいる。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して納得したサービスを利用するために入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に調理や味付けなど、職員が学んだり、共に支えあう関係が築かれている。また、生活歴を把握して、本人の思いや意向を尊重した取り組みが実践されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて近隣への散歩や日々の食材の買い物、花見や紅葉見物、栗山へのドライブなど本人本位に取り組んでいる。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、モニタリングやカンファレンスが実施され、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>バイタルチェック、水分・食事摂取量、排泄、排尿など具体的な個別の介護記録となっていて、それらが家族に開示されている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院への支援や散歩、買い物、花見などの外出が柔軟に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族が希望する主治医との連携で利用者、家族の希望や要望、状態変化など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならび主治医と相談しながら職員間で方針が共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応、個人情報の取り扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、近隣への散歩や買い物、調理や野外(テラス)での昼食、ホーム行事参加や趣味への支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に調理や味付け、盛り付けや後片付けなど行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴を楽しめるように支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら食事の準備などの役割や近隣への散歩や買い物などの楽しみごと、桜見物や平山公園までのドライブなど気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、バラ園や花見、栗山までのドライブ、買い物や散歩、テラスで外気浴や昼食など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけない取り組みが実践されている。また、ヒヤリ・ハットの取り組みで安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように消防署に協力を得て、利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命訓練が年2回実施されている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーについて栄養士の助言を得ながら支援している。また、具体的な水分・食事摂取量が記録され個々に応じた対応が行われている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、テラスには、テーブルや椅子が配置され外気に触れながら利用者同士仲良く談笑したり、ひとりになって過ごせる空間が工夫がされている。リビングには、利用者が集い生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇や使い慣れた家具、家族の写真などが飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。